

《担当者名》百々 尚美

【概要】

脳と心の謎について考えるために、中枢神経系、自律神経系、内分泌系、免疫系、骨格筋系、視覚-運動系についての生理心理学的知識を身につける科目である。

【学修目標】

生理心理学に関する基礎知識を習得し、精神機能をなう生体反応のメカニズムについて理解する。

脳と心との関係について、基本的な知識を説明できる。

精神機能をなう生体反応のメカニズムについて説明できる。

さまざまな科学技術の進歩が心の理解にどのようにかわるかを説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	生理心理学・精神生理学の定義、基本的概念、位置づけ	生理心理学・精神生理学の定義、基本的概念、心理学における生理心理学・精神生理学の位置づけについて学習する。	百々 尚美
2	脳神経系の解剖	脳神経の構造について知る。	百々 尚美
3	脳神経系の構造及び機能	脳神経系の構造及び情報伝達について知る。	百々 尚美
4	自律神経系の基礎	自律神経系の基本構造と働きについて知る。	百々 尚美
5	自律神経系の反応	自律神経系の測定方法と特徴的な反応について知る。	百々 尚美
6・7	注意	注意研究の変遷について知る。	百々 尚美
8	二つの脳	分離脳研究について知る。	百々 尚美
9	生物リズム	生物リズムのメカニズムについて知る。	百々 尚美
10	睡眠の基礎	睡眠のメカニズムについて知る。	百々 尚美
11	睡眠の脳科学	睡眠の脳科学研究について知る。	百々 尚美
12	ストレスの生理と心身の疾病	セリエの学説、汎適応症候群について知る。	百々 尚美
13	精神神経内分泌免疫系	精神神経内分泌免疫系について知る。	百々 尚美
14	バイオフィードバック	バイオフィードバック研究について知る。	百々 尚美
15	まとめ	授業のまとめ・総説。	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業内で行う小テストの結果（20%）、および定期試験の結果（80%）を総合して評価します。

【教科書】

適宜プリントを配布する。

【参考書】

『心理生理学 心と脳の心理科学ハンドブック』 北大路書房 2012年

『生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎』 北大路書房 2017年

『生理心理学と精神生理学 第II巻 応用』 北大路書房 2017年

【備考】

講義内に小テストを行う予定である。出席の確認は回収された小テストによってなされる。

欠席回数については各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。

【学修の準備】

シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（30分）

講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと（60分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な科学的知識や技術を備え、脳と心との関係について理解し、社会の様々な分野において、心の問題を評価し援助する基礎的技能を修得する能力を身につける。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。